

## 令和3年度病害虫発生予察注意報第2号

令和3年10月12日  
鳥取県病害虫防除所

### 注意報の概要

10月中旬現在、県中西部においてブロッコリー黒すす病の発生量が多くなっています。今後も本病の発生に好適な気象条件が続くと予想されますので、防除を徹底してください。

### 病害虫名：ブロッコリー黒すす病

- 1 対象作物 ブロッコリー
- 2 発生地域 県中西部
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠

- (1) 10月中旬現在、県中西部のブロッコリーほ場において、ブロッコリー黒すす病の発生量が多い。
- (2) 現地圃場の巡回調査では、発生ほ場率\*は100%（参考、10月下旬の発生ほ場率の平年値：44.0%）と高い。  
\*10地点調査（大山町4地点、琴浦町3地点、北栄町3地点）による発生ほ場率を示す。
- (3) 本病は、気温25℃付近が発病適温であり、多湿条件下で発生が多くなる。また、降雨と強風により発生が多くなるため、台風に伴う風雨によって発病が助長されやすい。
- (4) 向こう1か月の気象予報から、本病の発生量が多いと予想される。特に、現在本病の発生が見られているほ場では、今後の気象状況が本病の発生に好適な条件となる場合において、さらなる発生増加が懸念される。

### 6 防除上注意すべき事項

- (1) 現在、ブロッコリー生産圃場では出蕾中のものが多い。葉の病斑は花蕾への伝染源となるため防除を徹底する。
- (2) 防除薬剤は表1を参考とする。
- (3) 農薬使用にあたっては、使用基準を遵守する。



写真1 葉の発病



写真2 花蕾の発病（内部）



写真3 花蕾の発病（表面）

表1 ブロッコリー黒すす病に登録のある薬剤（登録内容は令和3年10月11日現在）

| 農薬の名称          | 希釈倍数       | 使用時期    | 本剤の使用回数 | 有効成分            | FRACコード  |
|----------------|------------|---------|---------|-----------------|----------|
| アフエットフロアブル     | 2000倍      | 収穫前日まで  | 3回以内    | ペンチオピラド         | 7        |
| アミスター20フロアブル   | 2000倍      | 収穫3日前まで | 3回以内    | アゾキシストロビン       | 11       |
| シグナムWDG        | 1500倍      | 収穫7日前まで | 2回      | ピラクロストロビン・ボスカリド | 11<br>7  |
| ファンタジスタ顆粒水和剤   | 3000倍      | 収穫3日前まで | 3回      | ピリベンカルブ         | 11       |
| メジャーフロアブル      | 2000倍      | 収穫前日まで  | 3回      | ピコキシストロビン       | 11       |
| パレード20フロアブル    | 2000～4000倍 | 収穫前日まで  | 3回      | ピラジフルミド         | 7        |
| ホライズンドライフフロアブル | 2500倍      | 収穫前日まで  | 3回      | シモキサニル・ファモキサドン  | 27<br>11 |